

用意するもの(組立の道具)

©T&TPI

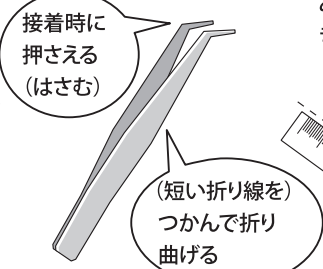
- カッターナイフ(切り抜いて穴を開ける箇所があり必須です。)
- ハサミ
- カッターマット
- 接着剤(木工用ボンドの速乾タイプなどがおすすめです。)
- ピンセット(細かいパーツもあるので欲しい道具です。接着時の押さえのほか、パーツの折り曲げにも使います。)
- 定規と先の尖ったもの(折り目をつけるために使用。書けないボールペンなどがおすすめです。)

道具は高価な物をそろえる必要はありませんが(百円のものでも可)、有ると無いとでは「大違い」です。ぜひ用意して楽しく組み立てましょう。

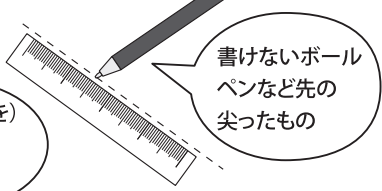
カッターナイフを使うときは、カッターマットや定規も用意しましょう。



ピンセットはとても便利です。



長い折り線は、先の尖ったものであらかじめ折り目を付けておくと、きれいに折り曲げることができます。

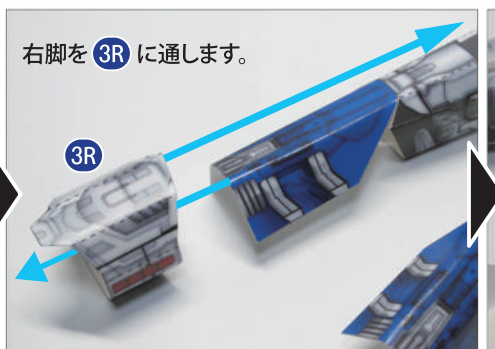
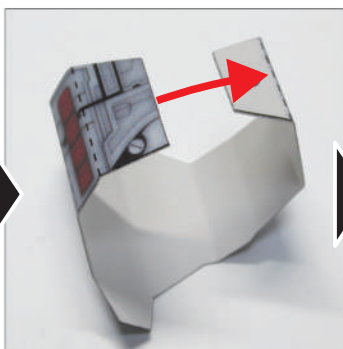
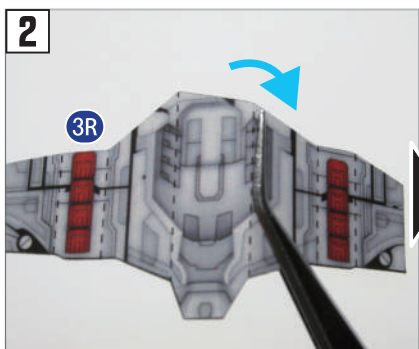
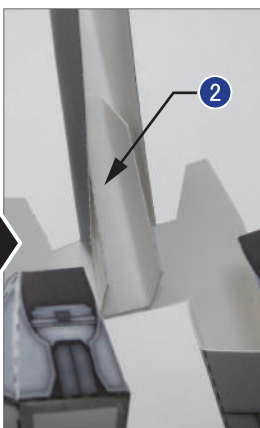
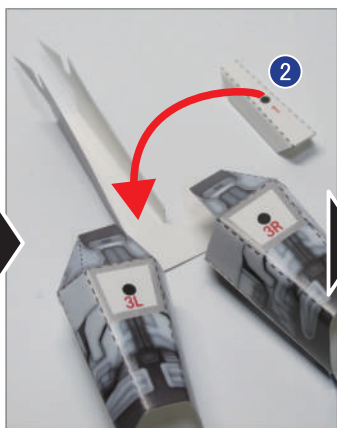
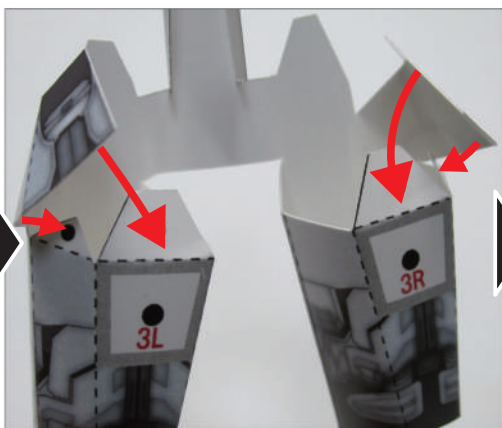
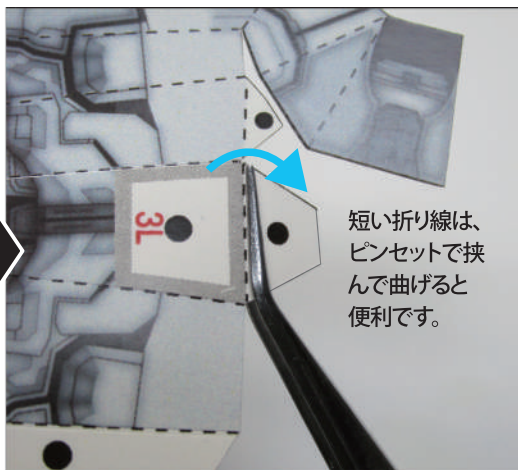
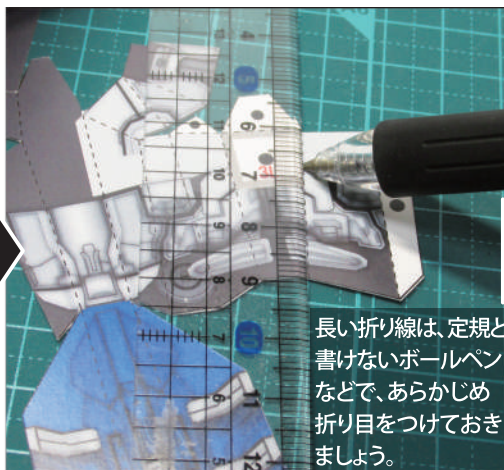


細かい部分に接着剤を塗布するためのヘラは、余った紙で作ります。

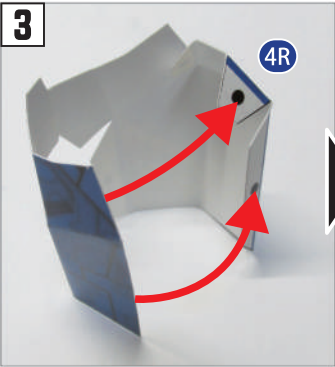


組み立て方

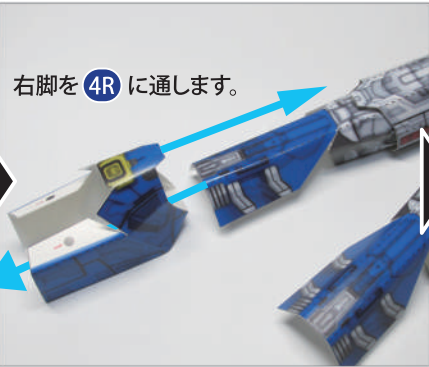
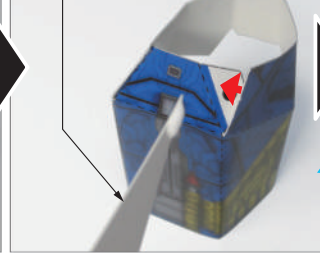
各パーツの組み立ては比較的簡単ですが、部品の数が多いので、疲れないう、ゆっくり組み立てていきましょう。



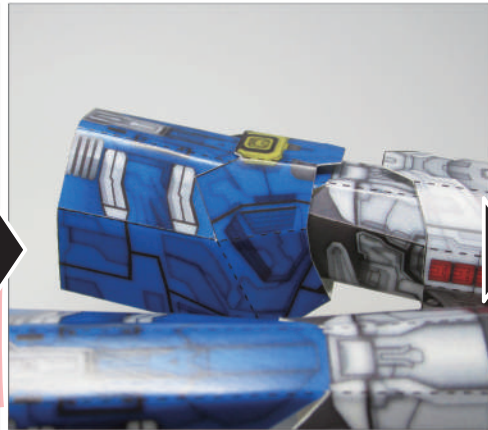
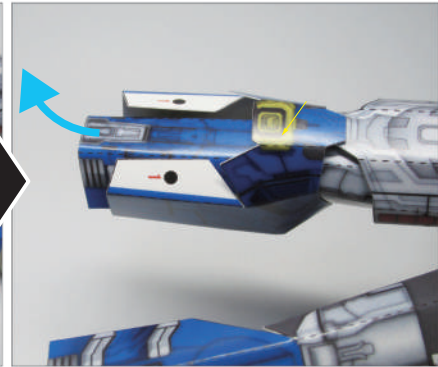
3



狭い隙間に接着剤を塗布するには、余った紙で作ったへらを使うと良いでしょう。



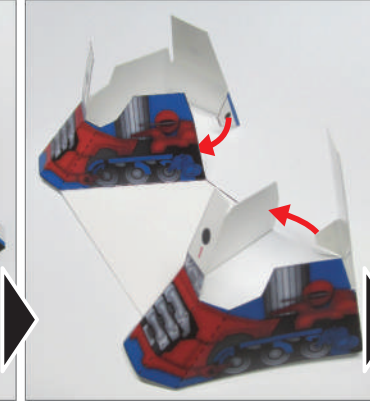
右脚を 4R に通します。



左脚も同様に組み立てます。

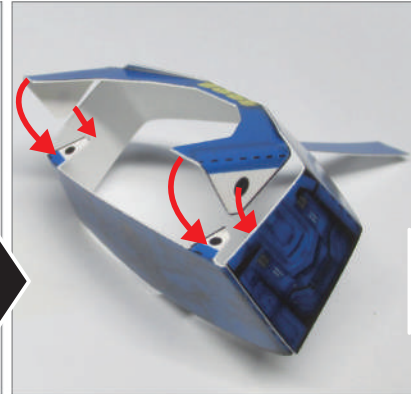
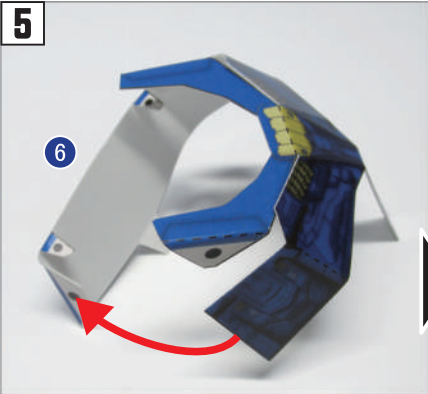
4

両足を組み立てて脚部に取り付けます。

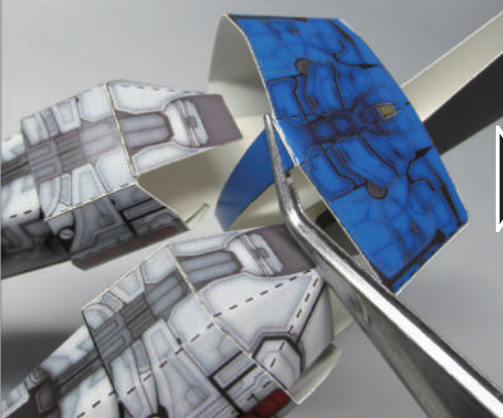


腰を組み立てて脚部に取り付けます。

5



狭いところを接着する際の押さえには、ピンセットを使うと便利です。

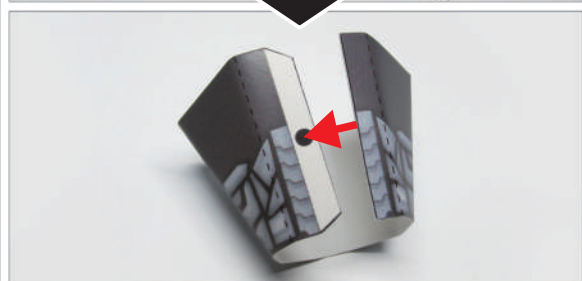
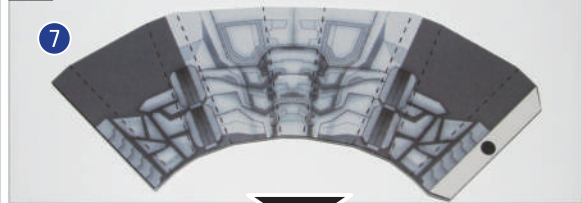


これで下半身が完成しました。

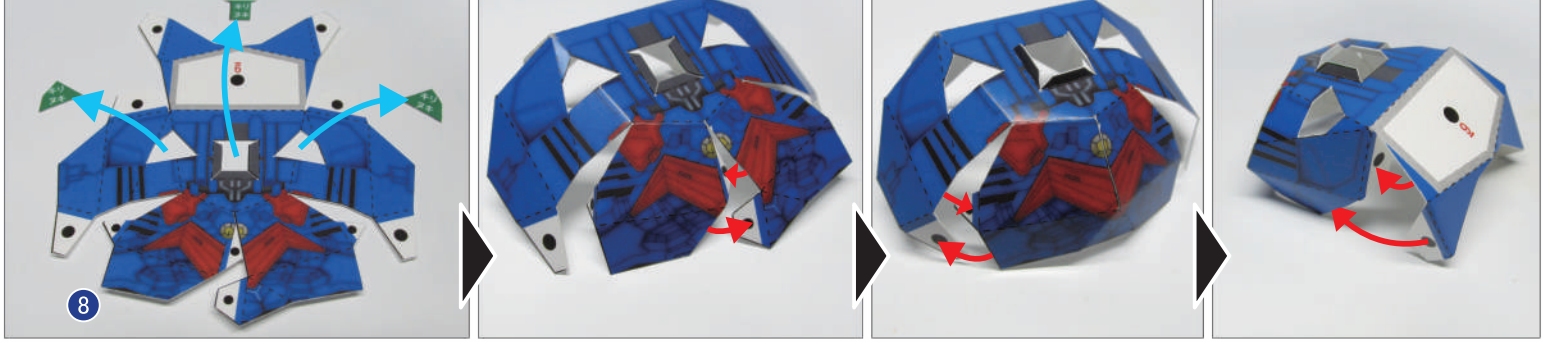
適宜休憩を取りながら進めていきましょう。

6

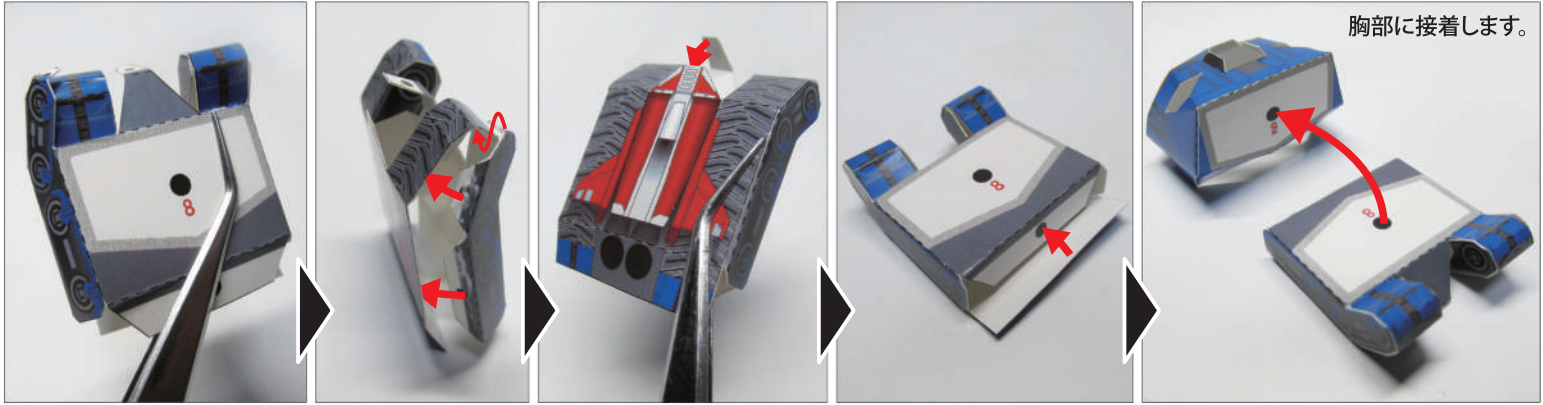
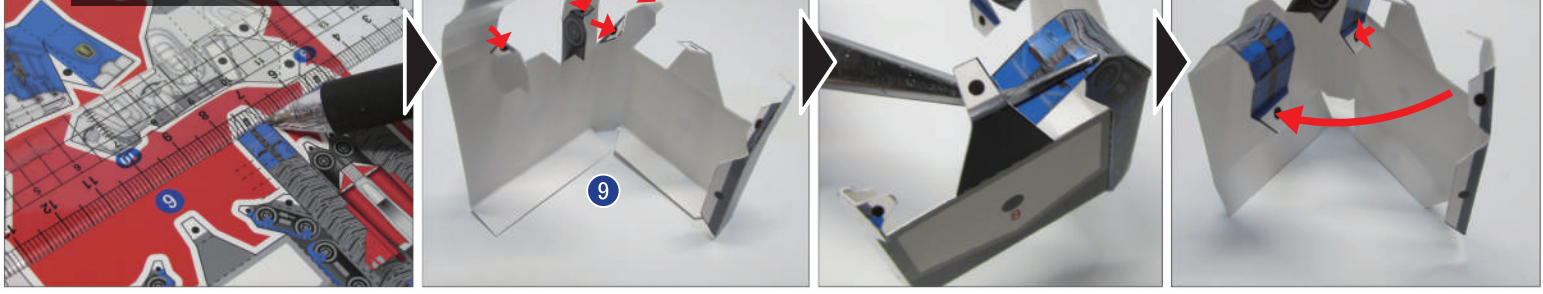
腹部を組み立てます。



7 胸部を組み立てます。切り抜くところが3か所ありますので、忘れないようにしましょう。



8 背中を組み立てます。折り線が見えにくいので、部品を切り取る前に折り目を付けておくとい良いでしょう。



胸部に接着します。

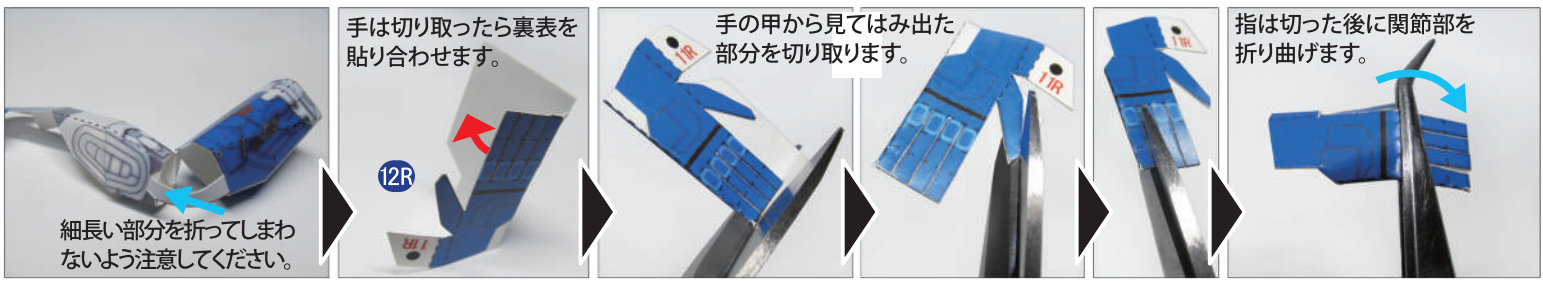
9 腕を組み立てます。左右(LR)をよく確認しましょう。



注:この面には接着剤を付けないようにしてください。

この内側に接着します。

細長い部分を隙間に差し込みます。

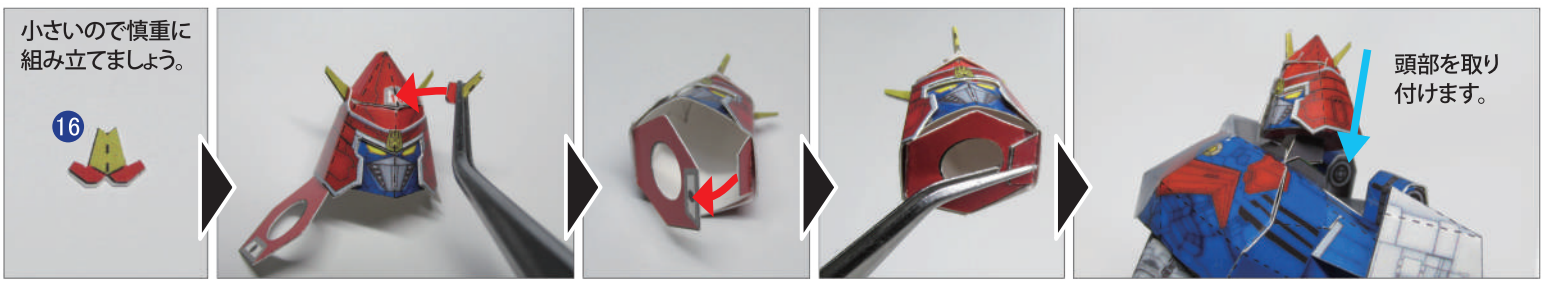
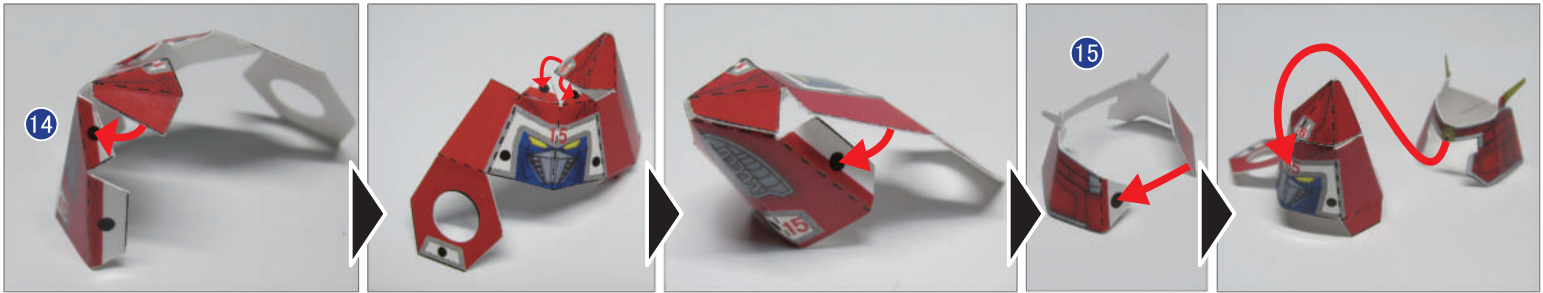
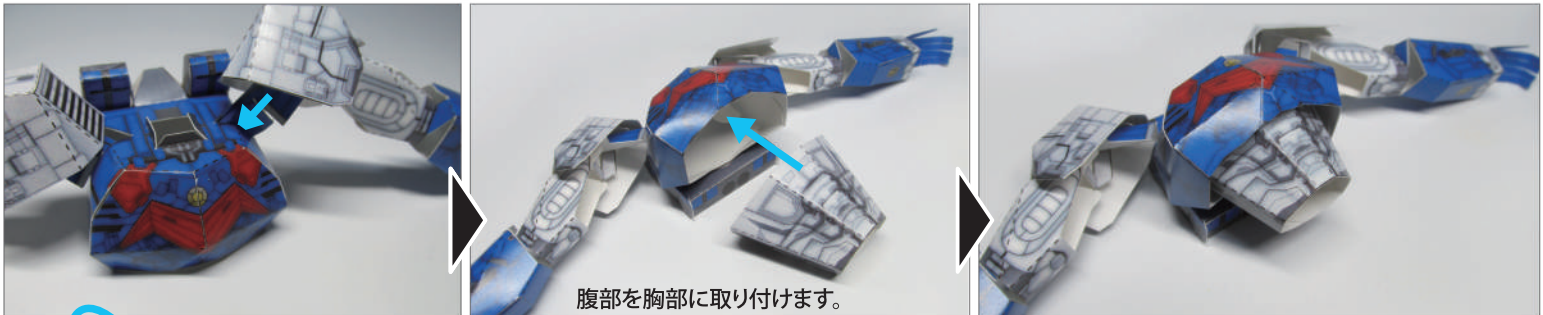
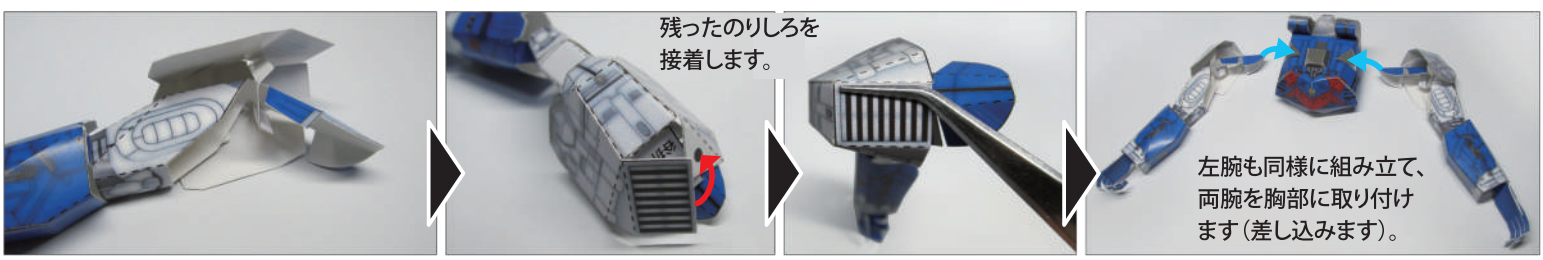
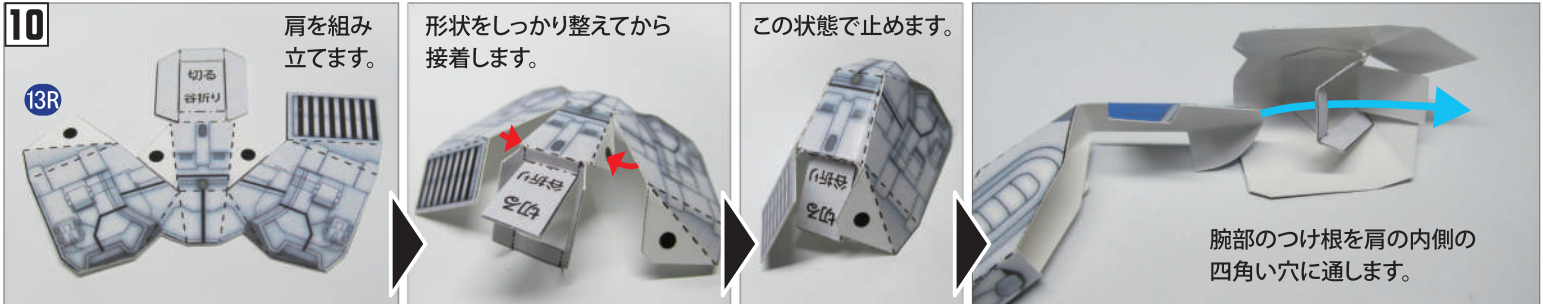
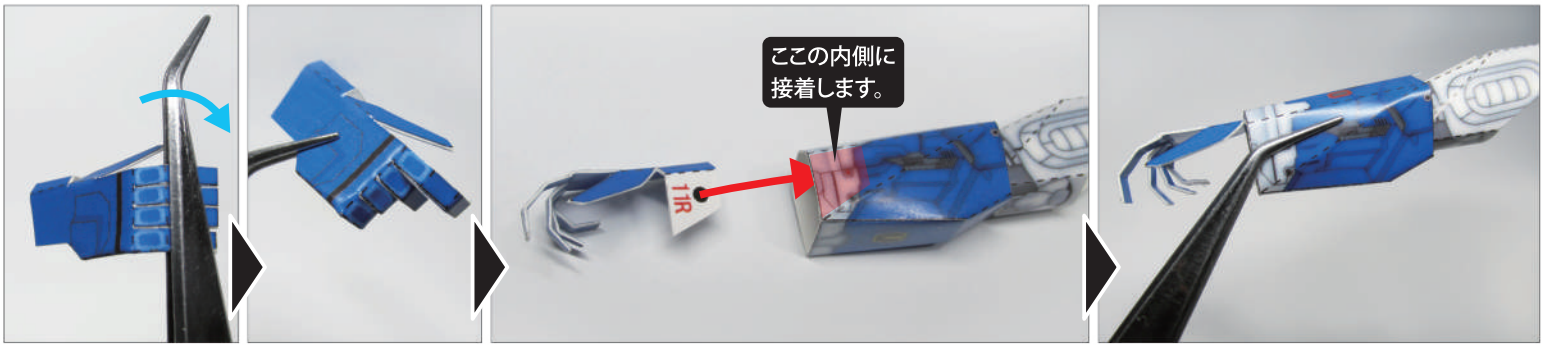


手は切り取ったら裏表を貼り合わせます。

手の甲から見てはみ出た部分を切り取ります。

指は切った後に関節部を折り曲げます。

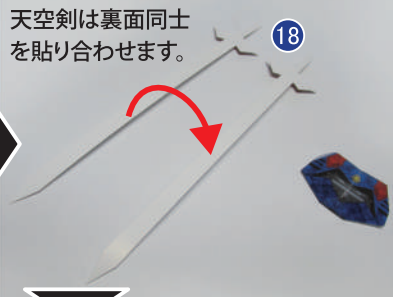
細長い部分を折ってしまわないよう注意してください。



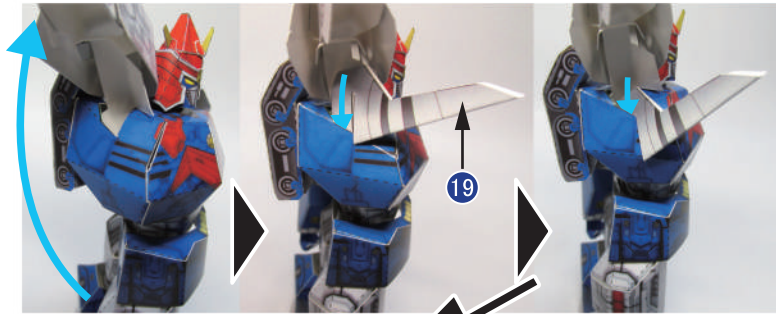
12

天空剣は裏面同士を貼り合わせます。

18



19は、腕を上げた状態で固定するための部品です。スリットを入れた部分の先端を腕のつけ根の穴に差し込み、もう一方の先端で腕を支えます。



天空剣は、両手で持たせるとポーズを決めやすいです。いろいろなポーズを楽しんでください。

